

# 介護関連審議会等ダイジェスト

〔注〕紙面の関係で図を大幅に短縮しました。詳細は厚生労働省のホームページなどでご確認ください。

【第13回介護給付費分科会（11月6日）】  
 〔概要〕施設系サービス（介護老人保健施設等）と口腔・栄養に関する報酬・基準を審議。厚労省は介護療養型医療施設を「療養強化型」（仮称）と「その他」に分け、存続の方針を明らかにした。

〔介護老人保健施設〕  
 論点1 在宅復帰支援「在宅強化型基本サービス費」を復帰・在宅療養支援機能加算で評価する。入所後訪問指導目標設定などを追加要件として評価。  
 論点2 退所後支援で専従労働要件を老健は専従労働員、併設事業所の一部に非常勤職員を配置を認める。  
 〔介護療養型医療施設〕  
 論点1 介護療養型の機能評価を29年度末までに完了する介護療養型医療施設を「療養強化型」（仮称）と「その他」に分けて存続。療養強化型の要件①重篤な患者及び身体合併症のある認知症高齢者②一定の医療処置を受けている患者③ターミナルケアの入院患者が、それぞれ一定割合以上いるなど。  
 〔施設系サービスの口腔・栄養〕  
 論点1 経口維持管理と経口維持管理を評価し、口腔衛生管理の普及のため「口腔機能維持加算」「口腔機能維持管理加算」を「口腔衛生管理加算」「口腔衛生管理加算」（仮称）に修正。  
 論点2 経口移行を目的とする摂食・嚥下の取組「経口移行加算」を「経口移行訓練加算」（仮称）に改称。  
 論点3 経口移行・経管維持の取組「療養加算」と「経口移行加算」を併算可とする。

# 個室ユニット推進協ニュース Number 94

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

## 大会宣言

全国個室ユニット型施設推進協議会は、ユニットケアを通じて入居者様のより良い暮らしを支援致します。また、個室ユニット型施設を推進する為に、常にインセンティブの働改定を求めていきます。具体的な活動として、以下の活動を組織的に行ってまいります。

1. 地域貢献事業を推進します  
 1. 看取り介護を推進します  
 1. 介護人材育成を推進します

平成26年11月14日  
 全国個室ユニット型施設推進協議会 全国研修大会 in 千葉



（左）基調報告をする赤枝会長（上）全国大会会場

特別講演 要旨 ☆「現場から考える社会保障と報酬改定と10年後の制度」  
 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村秀一氏

と、社会保障関係費は17.3%を超過する。社会保険料90.6%、公共事業費82.2%を大きく上回っている。2012年度の社会保障給付費は109.5兆円。25年度の半分を医療と介護が占めることになる。医療と介護が改革の最重要課題になるのはやむを得ず、改革は20年度に国の

「人を幸せにする介護」を学ぶ  
 第8回全国研修大会 in 千葉 750人参加  
 27年度介護報酬改定に向け、大会宣言を採択

全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協）赤枝雄一会長は11月13、14日の両日、千葉県浦安市のシエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルで「第8回全国研修大会 in 千葉 2014」を開いた。夢の国で語り合う「未来の福祉」「人ひとりの幸せを大切に」との呼び掛けに全国から約750人が参加し、講演、分科会、シンポジウムなどを通じて個室ユニットケアの意義、認知症ケアの実践、平成27年度介護報酬改定の行方などについてともに学んだ。平成27年度介護報酬改定の行方などについてともに学んだ。平成27年度介護報酬改定の行方などについてともに学んだ。平成27年度介護報酬改定の行方などについてともに学んだ。

個別リハ統合。自然と続ける個別リハ加算は基本報酬に包括する。認知症高齢者のリハを一体的に見直す。認知機能に合わせて実施（限度3カ月間）。その後、新設の「生活行為移行リハ」（仮称）に移行し、限度を6カ月にする。  
 論点2-1（訪問リハ）短期集中リハの期間（実施期間を3カ月に見直す）。  
 論点3 質の高い通所訪問リハの実績を評価。通所リハ生活行為向上リハ（仮称）は適用外。  
 論点4 重度要介護者の受入れ要介護者3人以上定期以上受け入れ、かつ看視職員を専従で1人以上配置する場合、加算する。  
 論点5 重度要介護者の医療処置の評価。加算の対象を要介護3まで拡大する。  
 論点6 訪問看護ステーション訪問リハリ事業所し基本報酬を合わせ、訪問看護のリハ7 同事業所に訪問リハと通所リハの運営効率化に計画作成や同意書、診療記録の一体的な作成を可能とする。  
 論点8 通所サービス共通送達時の居室内訪問30分以内、有資格者付付。  
 論点9 通所リハ後のお昼時間さらに延長加算の範囲を延長。  
 論点10 省略。  
 〔審査通所介護〕  
 論点1 重度要介護者対応の評価は複数で個別送達する。個別送達体制強化加算（仮称）、また入浴に「入浴介助体制強化加算」（仮称）を新設する。  
 〔予防介護〕  
 論点1 介護予防通所介護、介護予防通所リハ（仮称）の基本報酬と想定外の長時間利用は適正化する。  
 〔集合住宅におけるサービス提供〕  
 論点1 事業所と同「建物」の集合住宅に居住する利用者への訪問サービス10%減算（同「建物」以外の利用者への訪問サービス1ヶ月当たり20人以上の場合、10%減算）定期巡回・随時対応型訪問介護看護に居住者数にかかわらず、1月当たり単位で減算。  
 論点2 通所の送迎し事業者が送迎しない場合、減算。  
 〔福祉用具〕  
 論点1 複数のレンタルの値引き→都道府県に減額規定を掲げる。  
 論点2 福祉用具相談員の能力向上→自己研修の努力義務を定める。  
 〔福祉部会〕  
 第2回福祉人材確保専門委員会（11月19日）

「現場から考える社会保障と報酬改定と10年後の制度」  
 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村秀一氏

と、社会保障関係費は17.3%を超過する。社会保険料90.6%、公共事業費82.2%を大きく上回っている。2012年度の社会保障給付費は109.5兆円。25年度の半分を医療と介護が占めることになる。医療と介護が改革の最重要課題になるのはやむを得ず、改革は20年度に国の

「人を幸せにする介護とは何か！」  
 生活とリハビリティ研究所代表 三好 春樹 氏

帽子をかぶり、タオル10本を腰につぶら下げ、「ちよっとロシアに行ってみよう」と外出しようとするNさん。施設職員は止めようとするが、Nさんはなかなか納得しない。ところが、ベテラン職員が「先回りして見てきたら、今日、ロシアはお休みでした」と伝えたらNさんは外出をやめたという。一番いい時代、アイエムティエーを確信しようとする認知症行動の現れであり、その人の心を知り、信頼されることが認知症ケアの基本だ。

「現場から考える社会保障と報酬改定と10年後の制度」  
 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村秀一氏

と、社会保障関係費は17.3%を超過する。社会保険料90.6%、公共事業費82.2%を大きく上回っている。2012年度の社会保障給付費は109.5兆円。25年度の半分を医療と介護が占めることになる。医療と介護が改革の最重要課題になるのはやむを得ず、改革は20年度に国の

「現場から考える社会保障と報酬改定と10年後の制度」  
 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村秀一氏

と、社会保障関係費は17.3%を超過する。社会保険料90.6%、公共事業費82.2%を大きく上回っている。2012年度の社会保障給付費は109.5兆円。25年度の半分を医療と介護が占めることになる。医療と介護が改革の最重要課題になるのはやむを得ず、改革は20年度に国の

「現場から考える社会保障と報酬改定と10年後の制度」  
 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村秀一氏

と、社会保障関係費は17.3%を超過する。社会保険料90.6%、公共事業費82.2%を大きく上回っている。2012年度の社会保障給付費は109.5兆円。25年度の半分を医療と介護が占めることになる。医療と介護が改革の最重要課題になるのはやむを得ず、改革は20年度に国の

# 施設紹介 Vol.89 長野県

## 社会福祉法人サン・ビジョン 特別養護老人ホーム グレイスフル塩尻



長野県塩尻市は、長野県のほぼ中央にある清浄な空気と水、広大な山々を一望できる地域です。グレイスフル塩尻は、平成24年春、JR中央本線「塩尻駅」東口から徒歩1分の場所に介護・子ども・医療・住宅の4つの事業を行う施設として開所しています。

**多世代交流ができる新しいコミュニティタウン**

グレイスフル塩尻は、県内でも珍しい多様なニーズにお応えできる複合施設です。介護部門では、介護を必要とする方の支援のみならず、身体機能・認知機能低下を予防するためのトレーニングも積極的に行っています。英語や選択クラブを取り入れた保育園、日中の健康管理ができる診療所、ハイグレードな住宅もあり、多くの方の生活がより豊かに、よりキラキラと輝くよう、サポートをしています。

大切なことは、いつまでも健康でいつまでも活動的にいつまでも快適に生きること

私たちが日々取り組んでいることの一つに「ヘルシーエイジング」があります。日常的に運動ができる環境があり、運動を通して生活にメリハリを持ち、継続していくことで、利用者様のやりたいことを一つひとつ達成していく、望む生活・姿に近づいていく取り組みです。当施設では、毎月1回「ヘルシーエイジング委員会」を開催し、各利用者様に対する取り組みの内容を情報共有する他、取り組内容を施設サービス計画書にも反映し、効果の確認を確実に実行できるように取り組んでいます。障害があっても、認知症をもつても「健康的に年を重ねていくこと」を大切に考えています。



利用者様の自立支援・安全は、もちろんのこと、質の高いケア

「抱きかかえる、持ち上げる」といった力任せな介助を続ける、利用者様は身体に新たな痛みや不調をきたす可能性があります。また、介助者は腰痛となり仕事や将来の生活に支障をきたし、それに伴って事故が発生する可能性も高くなると考えています。当法人では、危険や苦痛の伴う力のみを介助を可能な限り無くし、利用者様の自立度を考慮し、適切な福祉用具の活用によるケア「フリーフォトリ」を徹底して行っています。フリーフォトリをしっかりと学んだ職員が中心となり、各ユニットの巡視や、定期的な勉強会を開催することで、どのスタッフも介助に携わっても、各利用者様の自立度を考慮し統一した方法で対応が行えるようになっています。

**リアルタイムの記録入力で、情報共有の強化を図り、総合的なケアを可能にする**

当法人では、業務の効率化・職員の負担軽減を実現するために、記録システムの構築に取り組み、2011年より、全施設でポイントケアシステムを導入しています。持ち歩きできるハンディ端末や、バーコードを活用して簡単に記録を入力できることが特徴で、利用者様の近くで見守りを行いながら、リアルタイムに記録を行うことができます。また、個人記録・業務日誌・請求書・居宅支援事業所に提供する月次報告書など、それぞれに記録しなくてはならなかった負担もなくなり、導入によってできた空き時間で、利用者様との活動やスタッフ教育ができる時間が増えています。

**【利用定員】**

- ユニット型特別養護老人ホーム(定員90名)
- ユニット型ショートステイホーム(定員10名)
- 特別養護老人ホーム(多床室)(定員50名)
- ショートステイホーム(多床室)(空室利用)
- グループホーム(定員18名) 小規模多機能居宅介護(登録定員25名) デイケアセンター(1日定員40名) 住宅型有料老人ホーム(24部屋)
- 一般介護(10部屋) 保育園(定員60名) 診療所
- ワインカフェレストラン 地域交流センター

〒399-0737 長野県塩尻市大門8番町9-10 TEL.0263-51-6211 FAX.0263-53-7168

# 施設紹介 Vol.90 東京都

## 社会福祉法人長寿村 特別養護老人ホーム 竹の塚翔裕園



イメージした作りで、調度品も古民具風のもので揃えています。

足立区は特養の待機者4000人とも言われていますが、費用の面で多床室を選択される方が多く、個室ユニット型施設には空床が出ているところもあります。介護保険制度を導入してからの、このような状態は初めてで、区内での個室ユニット型施設の運営はとて厳しい状況です。

【杉山(はせやま) 宏一施設長から施設紹介】

同じサービスを提供していくだけでは、サービスの質は低下する。常に5年先、10年先を見据え、日々新しいものを取り入れサービスの提供に努めています。

積極的な福祉用具の導入も、そのひとつで、人材不足の中でも福祉用具やITを活用して、効率的で質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

「楽しければ仕事じゃない。日々、笑顔でいられるような環境作りを意識し、職員が笑顔でなければ入居者も笑顔にはなれないと考え、職員にはいつも笑顔で利用者本位で働いてもらいたいと思っています。

**福祉用具の導入を推進**

乗用リフトや移乗介助用シートなどの福祉用具の導入を進めています。

導入後、これまで2人で介助していたことを1人でできるようになり、今では福祉用具はユニットになくてはならないもの

**研修・福利厚生**

社会福祉法人長寿村では旅行積立を行い、福利厚生の一環として研修を行っています。施設訪問を兼ねた研修先は、静岡・群馬・台湾など、高級旅館に宿泊し、そこで提供される高いサービス、おもてなしを学んで帰ってきます。

宿泊ができない職員には、デイズニーのホテルリテイヤーを日々のサービスに活かしてみたいという狙いから、デイズニーを研修先としています。

また、元気村グループ全体のキャリアパス研修、竹の塚翔裕園ではケアマネ・介護福祉士の研修参加費用を負担し、資格取得を支援しています。

〒121-0813 東京都足立区竹の塚7丁目19-14 TEL.03-5851-6050 FAX.03-5851-6055

【特養】定員100名【ショートステイ】10名【デイサービス】12名

### 全国研修大会 in 千葉

【1日目】講演会や分科会で学び

【情報交換会】

【2日目】シンポジウム

かわいすぎるチーパンくん

千葉へようこそ!

別室では中国の方々も同時通訳で大会を見学

閉会挨拶

千葉支部の方々。本当にお疲れ様でした。

### フォトメモリアル

大熊わいのマロ口解体工場の様子

女性だけの和太鼓

座長・尾島 朱美氏

藤野 倫太郎(流山こまき安心館)

稲毛 勇弥(玄海園)

梅田 顕(太陽の家)

藤崎 亮介(シルバークア吉野ヶ里)

平尾 ひとみ(ソルメゾン)

「施設になんて入居したくない?」

座長・尾島 朱美氏

社会福祉法人元気村 関東福祉専門学校 教務主任

野口 裕二(千の風・清澄)

大川 拓也(まんさくの里)

大和田 美樹(しよじゅゆ美浜)

名取 郁香(鎌ヶ谷翔裕園)

宮嶋 和代(明見苑)

### 「施設になんて入居したくない?」

座長・尾島 朱美氏

社会福祉法人元気村 関東福祉専門学校 教務主任

野口 裕二(千の風・清澄)

大川 拓也(まんさくの里)

大和田 美樹(しよじゅゆ美浜)

名取 郁香(鎌ヶ谷翔裕園)

宮嶋 和代(明見苑)

### 会議事録

11月12日から14日にかけて、推進協は全国研修大会開催地のシエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルで、平成26年度第2回理事会、常設3委員会を開いた。また、13日の理事会終了後、厚生労働省高齢者支援課の懸上忠寿課長補佐と西村緑主査から、27年度の介護報酬改定の検討状況について説明を受けた。別項「実態を踏まえて改定」

◎平成26年度第2回理事会

①1号議案(一般会計・特別会計の補正予算(案)) 事務局案を承認。

②2号議案(ユニットリーダー研修実地研修施設再調査の件) ユニットケア研修事業推進室の井手明利室長(望洋の郷・施設長)が、厚労省のユニットケア研修センターカリキュラム改訂等に伴い、再調査の見直しが必要。今年度末で契約が満了となる19施設について、1年間の契約更新と、27年度中に再調査を行うこと

③3号議案(役員人事について)

◎理事就任

牟田和男(福岡県・誠和会・理事長)

◎理事退任

富永健司(大分県・九州キリスト教社会福祉事業団・理事長)

重松勝(福岡県・さわら福祉会・前理事長)

◎第4号議案(大会宣言(案)について)

◎第5号議案(その他) 略

◎第24回介護保険委員会

①1号議案(平成27年度の介護報酬改正について) 藤村一朗介護保険委員長より、9月29日の第109回介護給付分科会ヒアリング意見陳述の報告。第2号議案(その他) 民間企業との比較、特養の課税、地域格差、ユニット型施設、人員等について意見交換。

◎第15回総務企画・広報委員会

事務局より報告。

①会員拡大について②ユニットケア研修受講者数と会員比率について③27年度スケジュールについて④26年度の広報活動取り組みについて⑤人材育成奨励金について⑥賛助会員について

◎⑥については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑦については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑧については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑨については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑩については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑪については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑫については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑬については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑭については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑮については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑯については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑰については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑱については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑲については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎⑳については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉑については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉒については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉓については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉔については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉕については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉖については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉗については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉘については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉙については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉚については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉛については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉜については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉝については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉞については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㉟については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊱については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊲については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊳については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊴については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊵については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊶については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊷については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊸については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊹については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

◎㊺については、次回総務企画・広報委員会にて詳細検討予定。

### 実態を踏まえて改定

13日の理事会終了後、厚労省高齢者支援課の懸上課長補佐と西村主査が介護給付分科会で発言している平成27年度介護報酬改定をめぐっての審議の状況を説明した。懸上補佐は「113回(11月6日開催)までの分科会で居室サービスと施設系イメージした作りで、調度品も古民具風のもので揃えています。」

足立区は特養の待機者4000人とも言われていますが、費用の面で多床室を選択される方が多く、個室ユニット型施設には空床が出ているところもあります。介護保険制度を導入してからの、このような状態は初めてで、区内での個室ユニット型施設の運営はとて厳しい状況です。

【杉山(はせやま) 宏一施設長から施設紹介】

同じサービスを提供していくだけでは、サービスの質は低下する。常に5年先、10年先を見据え、日々新しいものを取り入れサービスの提供に努めています。

積極的な福祉用具の導入も、そのひとつで、人材不足の中でも福祉用具やITを活用して、効率的で質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

「楽しければ仕事じゃない。日々、笑顔でいられるような環境作りを意識し、職員が笑顔でなければ入居者も笑顔にはなれないと考え、職員にはいつも笑顔で利用者本位で働いてもらいたいと思っています。

**福祉用具の導入を推進**

乗用リフトや移乗介助用シートなどの福祉用具の導入を進めています。

導入後、これまで2人で介助していたことを1人でできるようになり、今では福祉用具はユニットになくてはならないもの

### 実態を踏まえて改定

13日の理事会終了後、厚労省高齢者支援課の懸上課長補佐と西村主査が介護給付分科会で発言している平成27年度介護報酬改定をめぐっての審議の状況を説明した。懸上補佐は「113回(11月6日開催)までの分科会で居室サービスと施設系イメージした作りで、調度品も古民具風のもので揃えています。」

足立区は特養の待機者4000人とも言われていますが、費用の面で多床室を選択される方が多く、個室ユニット型施設には空床が出ているところもあります。介護保険制度を導入してからの、このような状態は初めてで、区内での個室ユニット型施設の運営はとて厳しい状況です。

【杉山(はせやま) 宏一施設長から施設紹介】

同じサービスを提供していくだけでは、サービスの質は低下する。常に5年先、10年先を見据え、日々新しいものを取り入れサービスの提供に努めています。

積極的な福祉用具の導入も、そのひとつで、人材不足の中でも福祉用具やITを活用して、効率的で質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

「楽しければ仕事じゃない。日々、笑顔でいられるような環境作りを意識し、職員が笑顔でなければ入居者も笑顔にはなれないと考え、職員にはいつも笑顔で利用者本位で働いてもらいたいと思っています。

**福祉用具の導入を推進**

乗用リフトや移乗介助用シートなどの福祉用具の導入を進めています。

導入後、これまで2人で介助していたことを1人でできるようになり、今では福祉用具はユニットになくてはならないもの

### 実態を踏まえて改定

13日の理事会終了後、厚労省高齢者支援課の懸上課長補佐と西村主査が介護給付分科会で発言している平成27年度介護報酬改定をめぐっての審議の状況を説明した。懸上補佐は「113回(11月6日開催)までの分科会で居室サービスと施設系イメージした作りで、調度品も古民具風のもので揃えています。」

足立区は特養の待機者4000人とも言われていますが、費用の面で多床室を選択される方が多く、個室ユニット型施設には空床が出ているところもあります。介護保険制度を導入してからの、このような状態は初めてで、区内での個室ユニット型施設の運営はとて厳しい状況です。

【杉山(はせやま) 宏一施設長から施設紹介】

同じサービスを提供していくだけでは、サービスの質は低下する。常に5年先、10年先を見据え、日々新しいものを取り入れサービスの提供に努めています。

積極的な福祉用具の導入も、そのひとつで、人材不足の中でも福祉用具やITを活用して、効率的で質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

「楽しければ仕事じゃない。日々、笑顔でいられるような環境作りを意識し、職員が笑顔でなければ入居者も笑顔にはなれないと考え、職員にはいつも笑顔で利用者本位で働いてもらいたいと思っています。

**福祉用具の導入を推進**

乗用リフトや移乗介助用シートなどの福祉用具の導入を進めています。

導入後、これまで2人で介助していたことを1人でできるようになり、今では福祉用具はユニットになくてはならないもの

### 実態を踏まえて改定

13日の理事会終了後、厚労省高齢者支援課の懸上課長補佐と西村主査が介護給付分科会で発言している平成27年度介護報酬改定をめぐっての審議の状況を説明した。懸上補佐は「113回(11月6日開催)までの分科会で居室サービスと施設系イメージした作りで、調度品も古民具風のもので揃えています。」

足立区は特養の待機者4000人とも言われていますが、費用の面で多床室を選択される方が多く、個室ユニット型施設には空床が出ているところもあります。介護保険制度を導入してからの、このような状態は初めてで、区内での個室ユニット型施設の運営はとて厳しい状況です。

【杉山(はせやま) 宏一施設長から施設紹介】

同じサービスを提供していくだけでは、サービスの質は低下する。常に5年先、10年先を見据え、日々新しいものを取り入れサービスの提供に努めています。

積極的な福祉用具の導入も、そのひとつで、人材不足の中でも福祉用具やITを活用して、効率的で質の高いサービスを提供していきたいと考えています。

「楽しければ仕事じゃない。日々、笑顔でいられるような環境作りを意識し、職員が笑顔でなければ入居者も笑顔にはなれないと考え、職員にはいつも笑顔で利用者本位で働いてもらいたいと思っています。

**福祉用具の導入を推進**

乗用リフトや移乗介助用シートなどの福祉用具の導入を進めています。

導入後、これまで2人で介助していたことを1人でできるようになり、今では福祉用具はユニットになくてはならないもの